

まいづる元気人 Vol.61

人間らしく、顔の見えるつながりで

健康な子どもと病気の子どもの違いって何だろう…。

小児科医として府北部での出産前後の医療を「顔の見えるつながり」で支え、少しでも母親と子どもの不安を取り除こうと奮闘。その取り組みが昨年11月に母子保健奨励賞・毎日新聞社賞を受賞した、舞鶴共済病院の増田淳司さんにお話を伺いました。



舞鶴共済病院 小児科医
増田 淳司 さん

正しい知識を伝えたい
京丹後市出身の増田さん。小学校教諭だった父の影響もあってか、発育・発達し変化する子どもの様子に興味を持ち小児科医になったという。平成17年に舞鶴共済病院へ。小児科医の一般業務に取り組みつつ、病院で熱心に行われていた「母乳育児支援」に携わった。健康な母子の場合、母乳で子どもを育てることで、子どものアレルギーに関する病気が減ったり、母子の糖尿病の発症率が下がったりするほか、母親のがんの発生率が下がるなど、母親と子どもの健康が守れるというものだ。また、母親のメンタルヘルスの安定や子どもの健康な発育・発達につながることも分かっており、子育て世帯にその知識を伝える講習会なども行っている。「子どもだけが成長するように思われますが、母親と一緒に成長していくんです」と正しい知識を普及するために尽力中だ。

つながることの強み
健康な子どもと病気の子どもとの違いはなんだろうか。同じ子どもでも日によって体調は違い、昨日まで健康だった子どもも今日は病気がかかっているかもしれない。小児科医という立場上、病気の子どもを診察する機会が多いが健康な子どもを診ることは少ない。一方、助産師や保健師は健康な子を診ることが多い。同じ子どもでも病気にかかる可能性があり、生まれる育つ環境が健康や病気に影響を与えるのだという。「だったら病気の子でも健康な子でも一貫してケアができるように、小児科医と助産師、保健師などが顔の分かるつながりをつくって、母親と子どもが育つ環境を整えればいいじゃないか」という発想のもと、府北部で合同の講習会や会議を行い出産前後の医療ネットワークづくりに貢献。分娩後、別の病院に母体・新生児搬送となっても円滑に

引き継げるような母体情報の共有体制、搬送ホットラインなども構築された。また、官民間問わず子育てに関わる専門職が集まる子育て応援団「はぐネットまいる」にも所属。地域の未来を担う子ども達が家族や地域の人から愛され育つことを目的に、いのちの教育、育児支援の講演会、勉強会などの出張講師を務めている。「子育ての不安な思いを少しでも軽減できればと思っています。私たち自身も自分と違う職種の人とつながることで思ってもない発想や答えにたどり着くこともあるんです」と思いを語る。



▲はぐネットでは増田先生の出張講演も実施中。

市議会 12月定例会

災害復旧などの補正予算ほか

市議会の12月定例会が12月5日～27日に開会。平成30年度一般会計・特別会計補正予算や条例制定など市長提案の26議案を審議。原案どおり可決・同意されました。



◆**一般会計補正予算**
◆**第5号** 保育所の安全対策や保育士業務の負担軽減など、保育環境の充実に支える「保育所安全対策・業務効率化促進事業費」をはじめ、維持が困難になっている農業用ため池で地震や豪雨などの災害リスクの高いものの廃止や安全対策実施に向けた調査を行う「農村地域防災減災事業費」昨年6月の大阪府北部を震源とする地震で安全性が問題となったブロック塀への対策として、民間施設のブロック塀の除却費の一部を支援する「民間建築物耐震改修等推進事業費」小・中学校のブロック塀などの改修を行う「施設整備事業費」のほか、台風24号等の災害復旧事業費などの補正を行うもので3億5,054万円の増額。

◆**特別会計補正予算**
◆**国民健康保険事業会計第4号**…8,669万円を減額し、総額は85億4,369万円。
◆**介護保険事業会計(第3号)**…8,111万円を増額し、総額3,280万円。
◆**後期高齢者医療事業会計(第1号)**…243万円を増額し、総額1億3,137万円。

市の施設の指定管理者が決定

期間は平成31年4月1日から2～5年間。各団体から提出された事業計画などにより指定管理者選定委員会での審査を経て候補者を決定。市議会12月定例会での議決を経て指定しました。

施設と指定管理者一覧

	施設名	指定管理者(応募数)	期間
公募	青葉山ろく公園(グリーンスポーツセンターなど)	一般財団法人舞鶴市スポーツ協会(1)	5年
	西市民プラザ	特定非営利活動法人まちづくりサポートクラブ(1)	5年
	青葉山ろく公園(陶芸館)	公益財団法人舞鶴市文化事業団(1)	5年
	東舞鶴公園、文化公園、泉源寺公園、前島みなと公園、伊佐津川運動公園、東体育館	舞鶴スポーツネットワーク(1)	5年
	商工観光センター	舞鶴商工会議所(1)	5年
非公算	勤労者福祉センター	一般財団法人舞鶴勤労者福祉協議会(1)	5年
	大丹生コミュニティセンター	西大浦産業株式会社	2年
	総合文化会館、東コミュニティセンター	公益財団法人舞鶴市文化事業団	2年
	農業公園	株式会社農業法人ふるる	2年
	親海公園	株式会社農業法人ふるる	2年
	自然文化園	公益財団法人舞鶴市花と緑の公社	2年

◆**舞鶴市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正** 生活保護法及び国の命令の改正に伴い特定個人情報に係る規定を整備。

◆**舞鶴市滞在型農林業体験実習施設条例の一部改正** 滞在型農林業体験実習施設の管理を効果的、効率的に行うため当該施設を指定管理施設から市の直営施設に移行。
◆**舞鶴市職員の給与に関する条例及び舞鶴市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正** 一般職職員の給与について国家公務員における取扱いに準じ、給料表、期末手当及び勤勉手当の支給割合を改定。
◆**舞鶴市の市長及び副市長の給与に関する条例及び舞鶴市教育長の給与等に関する条例の一部改正** 市長、副市長及び教育長の給与について、国家公務員における取扱いに準じ、期末手当の支給割合を改定。
◆**舞鶴市職員の給与に関する条例等の一部改正** 地方公務員法の規定に基づき、職員の給与から控除することができるものを追加するなど

一般会計補正予算の主な事業

事業名	補正額
公共施設案内予約システム改修経費	314万円
保育所安全対策・業務効率化促進事業費	458万円
農村移住・交流促進事業費	573万円
基盤整備促進事業費	400万円
農村地域防災減災事業費	1,000万円
企業誘致実現プロジェクト事業費	1,500万円
民間建築物耐震改修等推進事業費	60万円
(小・中学校)施設整備事業費	4,200万円
農業用施設災害復旧事業費	3,260万円
林業施設災害復旧事業費	1,300万円
道路橋りょう災害復旧事業費	2,760万円
河川災害復旧事業費	6,930万円

所要の改正。

◆**舞鶴市旅費条例の一部改正** 旅費から日当を削除し、旅行雑費を追加するとともに車賃の算定方法を改正。

人事

◆**監査委員の選任**

水嶋一明氏(68歳、引士 新政クラブ議員団)
◆**人権擁護委員候補者の推薦**
北浦弘治氏(65歳、行丞、
松尾眞弘氏(58歳、北吸)

その他

◆**指定管理者の指定** 商工観光センターなどの指定管理者を指定(詳細は上表のとおり)。
◆**工事請負契約の変更** (仮称)舞鶴子ども園整備工事の契約金額を変更。
◆**公有水面埋立に関する意見** 成生地区の公有水面の埋立について異議なしと意見。

しています。私の仕事や取り組みで、子育てに悩む世帯が減っていく環境をつくれたらうれしいです」と話す。やりがいについて聞くと「診察した子が元気に成長したり、同じ医療職を指したり就職したりするといった変化を目の当たりにしたときは何とも言えないうれしさがあります。これも一つのつながりということなのでしようね」と笑顔を見せた。